

河川事業の再評価概要書

() は、前回再評価時

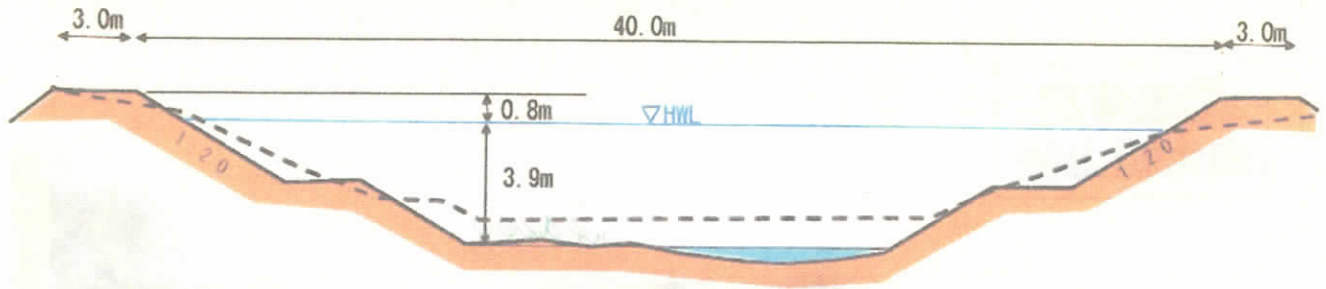
番号		1	
事業主体		栃木県	
事業名	安全な川づくり事業	事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>ごぎょうがわ</small> 五行川	事業箇所名	<small>もおかし</small> 真岡市、 <small>ほがまち</small> 芳賀町
事業区間	<small>もおかしおき</small> 真岡市沖地先～ <small>ほがまちかみのぶ</small> 芳賀町上延生地先	事業延長	20,400m
平成9年度事業化		平成9年度用地着手	平成9年度工事着手
事業期間	H9 ～ H38	事業進捗状況	基準年次：【平成28年度末時点】
〔うち用地補償費〕 全体事業費	[45.8億円] 131.4億円		〔うち用地補償費〕 [45.8億円] 既投資事業費 93.3億円
事業概要			
<p>五行川は、さくら市に源を発し、高根沢町、芳賀町、真岡市を経て、茨城県で小貝川に合流する一級河川である。計画区間は、流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。そこで、河川断面の拡大並びに遊水地の整備を行うことにより、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>			
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変化等			
流域内において、大きな土地利用の変化なし。			
事業の投資効果			
① 費用対効果分析結果			
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
1) 事業全体	B/C=4.7	815.9億円	171.9億円 [L=20,400m 区間]
2) 残事業	B/C=15.5	526.7億円	34.0億円 [L=11,400m 区間]
② 事業の整備効果等			
整備を図ることにより、宅地、道路や農地の浸水被害が解消される。			
事業の進捗状況等			
① 事業の進捗状況			
事業延長 20,400m のうち、下流端から御橋までの約 9,000m の整備が完了している。			
② 今後の事業進捗の見込み			
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。			
コスト縮減等			
① コスト縮減方策			
河川工事で発生した土砂は、近接する他事業へ流用し、工事費の縮減を図っている。			
② 代替案立案等の可能性			
全区間の用地を既に取得している。また、下流より順次整備を実施中である本計画が最適である。			
事業の対応方針 (案)	現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

位置図

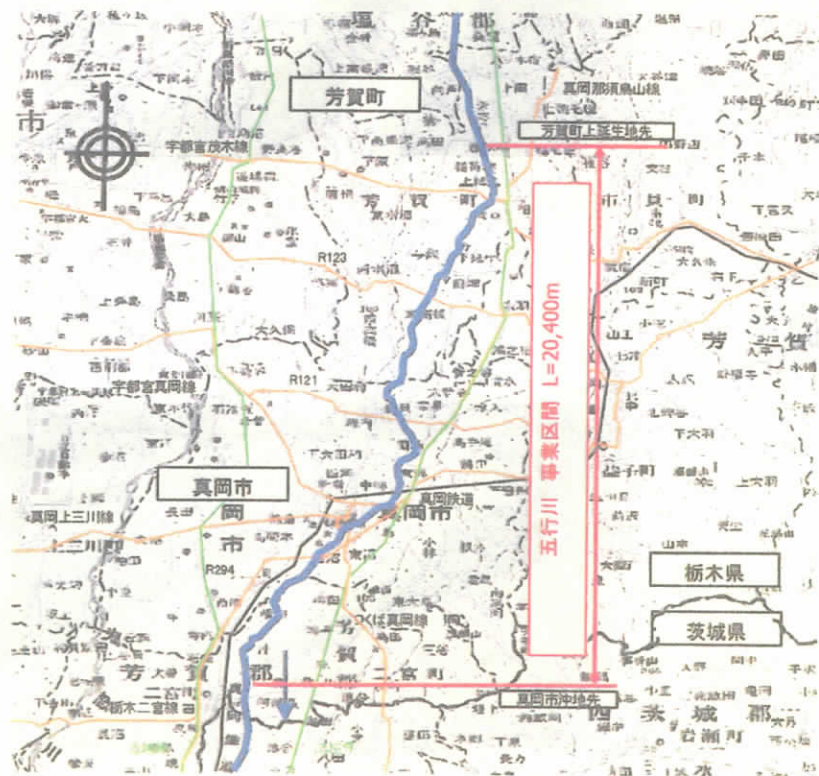


標準断面図



概要図

計画流量	140~400m ³ /s
現況流下能力	120~180m ³ /s



①出水状況
田町橋付近



②改修前
田町橋上流



③改修後
田町橋上流

